## 演習問題

@amoO\_O

2.61 (基本) K 近傍密度モデルでは、全空間上での積分が発散する変則分布になることを示せ、

データ点をxiとする.

$$R = \max(\|x_i\|)$$

とおく. 三角不等式より,

$$||x - x_i|| \le ||x|| + ||x_i|| \le ||x|| + R$$

が成り立つ.

(2.246)より、K 近傍密度モデル p(x)は、x を中心とする小球の体積 V に反比例する. V は ちょうど K 個のデータ点が入るまで拡大した球だから、次の不等式が成り立つ.

$$\frac{1}{p(x)} \propto V \le \frac{S_D}{D} (\max ||x - x_i||)^D \le \frac{S_D}{D} (||x|| + R)^D$$
$$p(x) \ge \frac{const}{V} \ge \frac{const}{(||x|| + R)^D}$$

この不等式を使って,全空間上で積分をすると,

$$\int_{\mathbf{R}^{D}} p(x)dx \ge \int_{\mathbf{R}^{D}} \frac{const}{(\|x\| + R)^{D}} dx$$

$$\ge const S_{D} \int_{0}^{\infty} \frac{r^{D-1}}{(r+R)^{D}} dr$$

右辺の積分を s=r+R と変数変換すると,

$$\int_{R}^{\infty} \frac{(s-R)^{D-1}}{s^{D}} ds = \int_{R}^{\infty} \left(\frac{1}{s} - (D-1)\frac{R}{s^{2}} + \cdots\right) ds$$
$$= [\ln(s)]_{R}^{\infty} + const = \infty$$

以上より、K近傍密度モデルは変則分布であることが示された.